

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第1回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

- ・令和4年度地域活動支援事業提案状況について

(2) 協議事項（公開）

- ・令和4年度地域活動支援事業採択決定までのスケジュールについて

(3) 自主的審議事項（公開）

- ・旧高土スポーツ広場（旧高土中学校跡地）の活用策について

3 開催日時

令和4年4月27日（水）午後6時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

高土地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：青木正紘（会長）、井澤裕一、上野秀平、玄蕃郁子、杉田一夫、高橋清司（副会長）、田中利夫、塚田春枝、日向こずえ（副会長）、松山公昭（欠席2人）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青木会長】

- ・挨拶

【山崎主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【青木会長】

- ・会議録の確認者：日向副会長

次第 2 議題「(1) 報告事項」の「令和 4 年度地域活動支援事業提案状況について」に入る。事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料 1 について説明

【青木会長】

今ほどの説明について質問を求める。

【松山委員】

金額がかなり大きい事業があるが、どういう内容か。

【山崎主事】

後日送付する提案書を確認いただき、不明な点はヒアリングで提案者へ確認してほしい。

【青木会長】

次に、次第 2 議題「(2) 協議事項」の「令和 4 年度地域活動支援事業採択決定までのスケジュールについて」に入る。事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料 2 について説明

【青木会長】

それではスケジュールを確認する。

— 日程調整 —

- ・第 2 回地域協議会（ヒアリング）：5 月 18 日（水）
- ・第 3 回地域協議会（採択事業の決定）：6 月 9 日（木）

他に質問等あるか。

（発言なし）

次に、次第 2 議題「(3) 自主的審議事項」の「旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について」に入る。事務局に説明を求める。

【山崎主事】

・参考資料、資料 3-1、3-2 について説明

【青木会長】

今ほどの説明について質問を求める。

【松山委員】

私は、地域の意見の重み付として、これまでの意見を 4 割、今回の小学生や保護者の意見は 6 割として捉えたいと思う。これを見ると、施設と広場の 2 つに分かれている。

【塚田委員】

保護者と子どもたちの意見を合計するとこの順位になるが、それぞれで見ると、子どもの意見と親の意見が案外合っていない。子どもを中心に考えればこの順番も違ってくるので、まだよく解読できていない。

【井澤委員】

これを考えるにあたって、放っておいてもいい施設を作るのか、それとも、例えば冬になったら片付けるものとか、囲いをするものとか、最初にかかるお金はどうするとか、そういったことを考えると、なかなか難しい。

個人的には、温泉で体を休めるための施設があれば嬉しいし、アスレチックや迷路などの自然を生かした遊び道具があれば、子どもたちは喜ぶと思う。ただ、その先がどうなるのか、心配なところである。

【青木会長】

以前の研修会でも先生が言っていたが、比較的容易に立ち上げられるものを、まず立ち上げる。そういうふうになれば、なかなかこれをすぐにというわけにはいかない。だから、長期的にはこれ、短期的にはこれ、というふうになっていくと思う。

【井澤委員】

例えば、芝生があつていろいろな遊びができる広場というのは、芝刈りは必要だが、管理人は必要ない。老人ホームは経営になってしまう。

【上野委員】

グラフを見ると、子どもたちの意見で一番多いのは温泉施設で、大人の方ではアスレチックになっている。大人の 1 位と子どもの 1 位が異なっているのが、若干気になった。

また、これはあくまでも将来的なことだと思う。まず地域協議会がやらなければいけないことは、何とかして地域の人に、あそこを利用してもらおう。そういう考えを持たせるということが一番大事だと思う。

私は個人的に、高士地区体育協会の副会長をやっている、今回の支援事業では、あそこを活用した事業を提案している。

従って、そういうことが第一歩だと思うので、これはあくまでも、将来、あそこを活用して、高士地区の人がいっぱい活用しているから何かしましょう、建ててもらいましょうという要望が出るような形になればいいかと思っている。

【玄蕃委員】

私も上野委員と同じで、実現可能なところから少しずつ始めていって、皆が面白いと思うようになったら、付加価値があるというか、ランニングコストをかけてもいいことを皆さん考えていけばいいのかと思う。

ただ、こういった子どもと大人の意見が出たので、それを大切にしながら、その中で実現可能なところから始めていけばよいと思う。

一つ質問する。資料中に、その他の施設とか、その他のスポーツとあるが、どんな意見があったのか。

【小林センター長】

今の質問にお答えすると同時に、今回の資料の作り方について補足する。

確かにおっしゃるとおり、その他の施設というのは、記述式になっていて、記述された意見は事務局で把握している。今回は時間的な猶予がなく、資料に入れなかったのは反省している。確かに大事なところなので、次回以降、形を変えてデータをお示ししたい。

またお気づきの点について、意見をいただければ、見え方や生かし方が違ってくると思う。本来であれば、データをどのように見るのかという視点を、最初に決めてから見たほうが、より有効な活用ができたのかと思っている。

皆さんのほうでストーリーがあって、それを裏付けるためにデータがある、こんな使い方ができれば本当はよい。

また次回に向けて、記述の部分を出してみたり、子どもに特化したランキングを作ってみたりして、改めてお示ししたいと思っている。

【青木会長】

どんなことを言っても、住民の声として、アピールしやすいバックデータとなるわけなので、これを大事にしていきたい。

【杉田委員】

維持管理が簡単な広場から手を付けたらよいと思う。

施設については将来構想として、もちろん何かを作っていくという構想は大事だと思うが、まずはインフラだけ整理をして、広場として活用してくのが、一番維持管理としても、取り組みやすいのではないかと思う。

【田中委員】

これを見ると、芝を利用したようなものが結構あるので、まずはその辺から手がけて、徐々に進めていけばよいのではないかと思う。芝を植えれば、結構できるものがあるので、まずはその整備だと思う。

あとはあそこに消火栓があるので、水はすぐに引けると思う。

そうすれば、それから徐々に人が集まってきて、次の段階というふうに行けば、一番、早いのではないかと思う。

【松山委員】

今回のアンケートを児童と保護者にどうやって返すか。子どもたちの意向を、思いを持って受け取ってあげたいと思っている。

【高橋副会長】

やはり多くの人が集まれる広場とか、遊べる広場、イベントなど、はっきり出てきているので、今高士地区でやっているようなイベントを実際やってみて、一つ一つ問題点を改善していけばよいと思う。

それと、将来的なことについては、子どもたちの意見をある程度尊重しなければいけないし、保護者の皆さんや各町内会長ほか、いろんな方々の意見を踏まえて、とりあえずやれそうなものをリストアップして実施していったら、それから改善点を出していくというふうには、進めていけたらよいと思う。

【日向副会長】

私は小学生の子どもがいるので、アンケートに参加した保護者の1人である。

コロナ禍で、学校の行事もほとんど全部中止になっており、そんな中で親子が交流する場所というと、やはりちょっとした広場なのである。

高田公園の芝生広場は、結構利用者がいる。近くにコーヒーショップができて、シ

ートを1枚持っていけば、お母さんたちは雑談ができて、子どもは放っておいても遊んでいられる。

せっかくアンケートを取った以上は、何か子どもにも保護者の皆さんにも、何かしらの形で返してあげたいという思いが強い。

一番早く実現できるものから手がけたいという思いはあるので、やはり広場を作る方向で進めたいと思う。

【青木会長】

他に意見等はないか。

【松山委員】

今回のアンケート結果は、協議会だより等に載せるのか。

【青木会長】

内容やタイミングも合わせて、正副会長と事務局で検討する。

【玄蕃委員】

除却後、体育館があった奥のほうは砂利になっていて、駐車スペースは結構できたと思う。水道はあそこを1か所立ち上げれば出るわけで、電気もなんとか繋がる。

問題は、トイレがない、下水道がないということである。

でもそれは、これからどういうことをするのかによって決まってくるし、これから活動をしてみて、やはりトイレがないと駄目だということは言われるかもしれないが、案外活用できるのではないかと思う。

キャンプなんかは、ソロキャンプだったらできそうな雰囲気もある。

なので、皆さんで1回あそこを実際に見てみるのもよいと思う。

【松山委員】

以前にも言ったが、例えばあそこを車が30台・40台も来るとしたら、狭くて行き来できないし、その辺が大変だと思う。

【上野委員】

あの広場は、高士地区体育協会が事務局になって草刈り等の整備をしているが、除却前の建物があったときも、20台は止められた。今現在は建物が除却されているので、50台は止められると思う。ただし、広場として使える場所が、グラウンドだけになる。

【松山委員】

車がすれ違える広さはあるのか。

【上野委員】

校門からの細い道は、すれ違えない。ただし、研修棟のあった場所まで来れば、すれ違える。

【松山委員】

道の拡幅はできないか。

【青木会長】

畑側に広げるのは地権の関係で難しいかもしれないが、グラウンド側なら市の土地なので、可能かもしれない。そんなことを考えていた。

ただ、そういうことは、やることが決まって、そういう必要性が生じたらのものであって、皆の熱意があれば、難しくないのではないかと思う。

今日いただいた貴重なご意見をまとめて、どこまで前向きな提案にまとまるかは分からないが、一次案を作って、次の協議会でまた揉んでいただきたい。

【小林センター長】

本日いただいた意見をもとに、グラフの作り方も含めて、どのように皆様に次回ご提案するか、正副会長と相談しながら、一步ずつでも前に進んでいけるように準備していきたいと思う。

【青木会長】

以上で次第2 議題「(3) 自主的審議事項」の「旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について」を終了する。

次に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

— 日程調整 —

- ・ 次回の協議会：5月18日（水） 午後6時30分から 高士地区公民館 大会議室
- ・ 内容：地域活動支援事業のヒアリング

【日向副会長】

- ・ 閉会の挨拶

【青木会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。